



大宜味

謹賀新年



村内小学生の
亥年生まれの



仲間と共に夢に向かって突き進もう!!

撮影日：12月19日(水)
撮影場所：大宜味小学校多目的教室

平成三十一年 村長年頭のあいさつ

大宜味村長 宮城 功光



新年あけましておめでとうございませう

村民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、村民の皆様のご支援を賜り、無投票による二期目の当選をさせて頂きました。また、村政各般にわたり村民の皆様のご温かい御支援・御協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本村にとつて村制一〇周年の大切な節目の年となり、「大宜味村民憲章の制定」や、「観光拠点施設やんばるの森ビジターセンターの着工」「子ども議会初開催」「大宜味中学生による『シークワサー酢SKS+S』開発」「福島県西会津町と『結』交流協定締結」など、新たな事業を展開してきました。

また、村の宝である子供たちの活躍も著しく、スポーツや文化など良いニュースがたくさん飛び込んできた中で、特に村民が注目したのが、大宜味中学校男子ソフトテニス部です。中体連県大会で団体戦優勝、個人戦においても福地・花田ペアが見事二連覇。九州大会でも団体戦準優勝、個人戦の福地・花田ペアが三位となり、全国大会へ出場しました。

本年も結の浜余白地の利活用と共に、企業誘致を積極的にに行い、総合的に連携した、観光商工PRと農産業振興を推進し、さらに、やんばる国立公園の玄関口となる旧大宜味中学校跡地には、今年秋頃のオープンを目指しております『やんばるの森ビジターセンター』（機能・観光情報発信施設・特産品等販売施設・道の駅おおぎみ・カフェレストラン等）が地域振興の拠点として整備されます。

また、子育て支援策、医療の充実など、昨今の社会情勢に対応すべく様々な課題の解決に向け、村民が心豊かで安心して暮らせる福祉の確立による地域活性化へ取り組み、職員一同、心を一つにして、本村の発展と村民の皆さまの幸せのため、最大限の努力をしていく所存でございます。

本年も、昨年同様、御支援・御協力を賜りますようお願い致します。結びに、村民の皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のあいさつと致します。

平成三十一年 元旦



【100歳慶祝訪問】前田美恵子さん宅より

ルートインジャパン株式会社との「ホテル出店に関する基本協定書」締結

村長2期目スタート



平成三十一年 議長年頭のあいさつ

大宜味村議会議長 平良嗣男

新年あけましておめでとうございませす

村民の皆さまには平成三十一年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、大宜味中学校男子ソフトテニス部が県大会において、団体戦及び個人戦（花田・福地ペア）で優勝を成し遂げ全国大会へ出場するなど、素晴らしい成績を残しております。また、教育委員会との共催による「初」の試みとなった、子ども議会では、日頃感じている村政への意見を堂々と述べるなど、子ども達の活躍が目を引き年でもありました。子どもたちは、村の宝であり、財産でもあります。本年も、昨年以上の子どもたちの活躍に期待しているとっております。

今年五月一日より「平成」から新しい時代へ変わる年でもあり、三十年余りの平成の時代も幕を閉じることになります。

そのよう中、「やんばるの森ビジターセンター」の完成が予定されており、やんばる三村の「新たな」観光窓口として、大きな期待が寄せられております。

村議会においては、去った九月の議会選挙で改選があり、新しい議員が今後四年間、村の発展の為に活動をしてまいります。

議会の役割は予算や条例などの議決のみではなく、国や県の動向にも注視しながら、村民の声を行政に反映させていくことでもあります。執行機関と互いに切磋琢磨しながら、複雑多様化する社会に対応し、村民の皆様の負託に応え大宜味村の抱える諸問題を解決するために、議会としても全力を尽くしてまいります。

結びに、本村の益々のご発展と村民各位の一層のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。

平成三十一年 元旦



子ども議会



西会津町議会との議会間共同声明



大宜味村議会議員に当選した10人



村長・教育長 2 期目スタート！ 新人 4 人を含む 10 人の議員が当選！



▶「当選証書付与式」後の集合写真



▶米須邦雄教育長（左への辞令交付

9月9日、任期満了に伴う大宜味村長選挙は、宮城功光現村長が無投票による2期目の当選となりました。同日に開催された、任期満了に伴う大宜味村議会議員選挙では、13人が立候補し、新人4人を含む定数10人の議席が決定しました。また、11月12日には、2期目がスタートする米須邦雄教育長への「辞令交付式」が行われ、2期目のスタートを切りました。
 ※村長・村議会議員選挙については、広報「大宜味」10月号（No.283）、教育長辞令交付式については、広報「大宜味」12月号（No.285）よりご確認ください。

これからも心と心が通った交流を！ 福島県西会津町と「結」交流協定を締結！



握手を交わす宮城村長（左）と薄町長（右）

11月4日、大宜味村は交流25年目を迎える福島県西会津町と、「『結』交流協定」を締結しました。同日、「西会津ふるさとまつり」の中で行われた調印式では、協定書への署名後、両町村長が固い握手を交わり、関係者と交流協定の締結を祝いました。西会津町との交流をさらに強くし、両町村が、益々元気で活気のある場所となっていくことに期待が高まります。
 ※「『結』交流協定」についての詳しい内容は、広報「大宜味」12月号（No.285）よりご確認ください。

「大宜味村民憲章」制定！！



大宜味村民憲章 平成30年6月1日告示第29号

わたしたちの村、大宜味村は、やんばると呼ばれる山・川・海などの豊かな自然に恵まれ、地域資源と共存し、村はある「人材を以って資源と為す」を精神的支柱として発展してきた誇り高い歴史と文化があります。（中略）

わたしたち大宜味村民は

- 一 先人の教えを尊重し豊かな心を育む村をつくります
- 一 豊かな自然に恵まれた歴史文化の薫り高い村をつくります
- 一 思いやり支え合う結いの心で住みよい村をつくります
- 一 身も心も健康で活気みなぎる明るい長寿の村をつくります

村民が共通して大宜味村を誇りに思える心がけになるものとして、「大宜味村民憲章」が制定され、6月1日に告示されました。村民憲章の制定により、長年、村民に村是として認識され、親泊朝擢先生（大宜味小学校初代校長）が学校経営目標として提唱された、「人材を以って資源と為す」という言葉が、しっかり「村是」として位置づけられました。

故照屋林三氏 「特別叙勲と特旨叙位」を受章



左から沖縄県の謝花喜一郎副知事、照屋政子氏、宮城功光村長

6月13日、沖縄県庁において、故照屋林三氏（元大宜味村長）の公選歴村長2期8年、公務員歴33年5ヵ月などの功績が称えられ、特別叙勲（旭日双光章）と特旨叙位（正六位）が、妻の照屋政子氏に伝達されました。伝達を受けた政子氏からは、「主人の生き方が思ってもない形で実って嬉しい気持ちで一杯。それも皆さんの協力があってやりとげられたので、皆さんにも感謝しています」と、喜びと感謝の言葉がありました。

～73番・川田線～ 長年の運行に感謝！お疲れ様でした！



画像提供：奥原崇達

戦後より名護市と大宜味村、東村を繋ぎ、村民の足として利用されてきた「73番・川田線」は、9月30日をもって運行が終了しました。長年、過疎地域を支える公共交通の役割を果たしてくれたことへ感謝致します。



2018

大宜味村10

前田國男さん（謝名城） 沖縄県指定無形文化財保持者（琉球漆器）に認定！



5月8日の沖縄県教育委員会告示第6号において、前田國男さんが「沖縄県指定無形文化財保持者（琉球漆器）」に認定されました。前田國男さんは長年、琉球漆器の作品を制作し、「冲展」への出品や、展覧会用の作品制作など、精力的に活動されています。また、各工程において卓越した技術を保持し、作品の幅の広さや、これからの伝承者養成への期待、漆芸に取り組む姿勢などにおいて高い評価を得ています。前田國男さんは、「喜びもあるが、それ以上に次の担い手を養成するという責任も強く感じている」と、認定を受けた感想を話しました。

大宜味中学校男子ソフトテニス部大躍進！



2018年は、大宜味中学校男子ソフトテニス部が大躍進し、「大中旋風」を巻き起こした年となりました。7月に開催された「第60回沖縄県中学校ソフトテニス競技大会」において、団体戦、個人戦（花田悠馬・福地想楽ペア：大中3年）ともに優勝。続く8月の「第49回九州中学校ソフトテニス競技大会」では、団体戦準優勝、個人戦3位（花田・福地ペア）の成績を収め、全国から強豪校が集まる「第49回全国中学校ソフトテニス大会」に出場するという快挙を成し遂げました。

子どもたちが文化面で活躍！！



玉城憂人さん

2018年は、子ども達が文化面において数多くの賞を受賞した年でもありました。9月に開催された「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール沖縄県地方大会」（主催：公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団）では、辺土名高校2年の石井千啓さんが、最優秀賞に輝きました。10月には、「第58回沖縄県児童・生徒科学賞作品展」（主催：県理科教育協会・県小学校理科研究会・県中学校理科教育研究会）において、大宜味小学校自然観察クラブが、チョウの研究で優秀賞。同月には、「第66回全琉小・中・高校図画・作文・書道コンクール」（主催：沖縄タイムス社）の中学校作文、韻文（詩・短歌・俳句）部門において、大宜味中学校3年の玉城憂人さんの詩が、最優秀賞に選出されました。

「子ども議会」初開催！！



11月16日（金）、大宜味村議会議場において、初の試みとなる「子ども議会」が開催され、大宜味中学校3年生から選出された代表11名が議員となり、一般質問を村行政へ行いました。議長も生徒が務め、一般質問では、「村のインターネット・携帯電話の通信環境について」「テニスコート室内化と中学校体育館の利用について」「観光の活性化について」など、大人も感心するような質問がなされました。村長をはじめ、副村長、教育長、各課長の答弁に対しても、自ら考えさらに質問する場面もあり、頼もしい姿を見ることができました。

その他主な出来事

- ・ルートインジャパン株式会社と「ホテル出店に関する基本協定書」締結
- ・大宜味村体協野球部が国頭郡軟式野球大会を2連覇
- ・大宜味村商工会40周年
- ・大宜味村蕎麦（穀物類）生産組合、平成29年度全国そば優良生産表彰事業において、「一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞」を受章

中学生が開発した「シークワーサー酢SKS+S」販売開始！！



大宜味中学校1年生（当時）が、総合の授業において、大宜味村産シークワーサー飲料水「シークワーサー酢SKS+S」を作りました。開発は、多くの企業と連携しながら、中学生が企画書作成から味の決定、ネーミングやパッケージデザインなど、多くのことに取り組みました。販売に合わせ1月23日には、沖縄県庁にて記者会見を行い、「シークワーサーで村を元気にしたい！」という想いの込められた商品をPRしました。

「やんばるの森ビジターセンター」 指定管理者決定!!

2019年11月の供用開始を目指し、現在、旧大宜味中学校跡地に建設中の「やんばるの森ビジターセンター」の指定管理者が、このほど決定しました。指定管理者については、8月23日から10月12日までの期間で公募を行い、「やんばるの森ビジターセンター指定管理者予定候補者選定委員会」を経て、12月10日から行われた「平成30年第10回定例会」にて、指定管理者の指定が可決され決定しました。決定した指定管理者について、下記のとおり紹介します。

【指定管理者】 株式会社ファーマーズ・フォレスト

【設立年月日】 平成19年7月31日

【所 在】 栃木県宇都宮市新里町丙254 番地

【代 表 者】 松本 謙

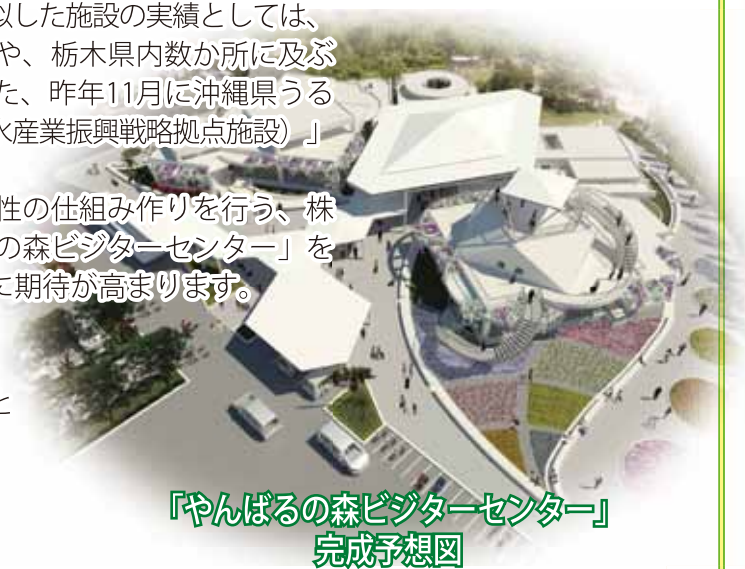
【事業実績等】

栃木県内を中心とした事業展開を行っており、類似した施設の実績としては、「道の駅うつのみやろまんちっく村」の管理運営や、栃木県内数か所に及ぶアンテナショップの管理運営などがあります。また、昨年11月に沖縄県うるま市にオープンした、「うるマルシェ（うるま市農水産業振興戦略拠点施設）」の管理運営も担っています。

地域に根ざし、地域と連携協働しながら経済活性の仕組み作りを行う、株式会社ファーマーズ・フォレストが、「やんばるの森ビジターセンター」を起点とした村づくり、村の活性化へ貢献することに期待が高まります。

【施設管理の内容】

- 観光及び地域情報の発信、利用促進に関すること
- 特産物及び特産品の宣伝販売に関すること
- イベントに関すること
- 飲食等の提供に関すること
- 道の駅おおぎみの管理運営に関すること



特産品のシークワサーで交通安全を呼び掛け！



シークワサー作戦の様子

12月19日(水)、津波のガタ原・交通安全記念碑前において、「『平成30年度年末・年始の交通安全運動』大宜味村シークワサー作戦」(主催：大宜味村・村交通安全推進協議会・名護地区交通安全協会大宜味支部)が行われました。村交通安全推進協会会長を務める宮城功光村長はあいさつにおいて、「村の特産品であるシークワサーをPRするとともに、交通安全についてドライバーの皆さんに訴えていきましょう」と、作戦への意気込みを語りました。名護警察署の山田聡署長もあいさつで、県内・名護署管内・大宜味村内における交通事故や飲酒運転の状況を説明し、集まった参加者から交通安全運動の広がりを作っていくことへ期待を表していました。シークワサーとチラシの配布では小中学生が活躍し、用意された200セットをドライバーに配布しながら、交通事故防止の徹底を呼び掛けていました。

第4回おおぎみ生物多様性シンポジウム ～おおぎみ生物多様性こどもサミット～



アイモコによる特別講演



ディスカッションの様子

12月19日(水)、大宜味村ユーティリティセンター(旧塩屋小学校体育館)において、「第4回おおぎみ生物多様性シンポジウム～おおぎみ生物多様性こどもサミット～」(主催:大宜味村生物多様性センター運営協議会)が開催されました。前半は、大宜味小学校自然観察クラブによる、屋古のチョウの研究結果発表や、辺土名高校環境科の生徒による、環境科の紹介やグループ研究の発表が行われました。後半では、シンポジウムの司会も務める大宜味村ふるさと観光大使の「アイモコ」(東風平愛郎・モコ)による特別講演が行われました。生き物が好きという2人は、軽快なトークと歌で会場を盛り上げ、生物多様性について楽しく考える時間を作ってくれました。シンポジウム最後には、沖縄国際大学の宮城邦治名誉教授がコーディネーターとなり、小学生、中学生、辺土名高校生とのディスカッション、「おおぎみの魅力を守り育てていくために」が催されました。「素敵な大宜味を守っていきにはどうしたら良い?」との問いかけに子どもたちは、「豊かな自然のことを伝えていく」「ゴミを拾うなど自分たちができる活動を行う」など、自分なりの考えを述べていました。こどもたちも参加し、初めての試みとなるディスカッションでしたが、地域の中にある魅力を見つめなおす貴重な機会となりました。

「やんばるアートフェスティバル 2018-2019」開催中!!



昨年も旧塩屋小学校(大宜味ユーティリティセンター)が会場の1つになり、北部地域で開催された「やんばるアートフェスティバル」(主催:やんばるアートフェスティバル実行委員会)が、12月15日(土)から1月20日(日)の期間で開催されています。今回も様々なアーティストの作品展示や休日のイベントなど、充実した内容となっています。村内においては、旧塩屋小学校をはじめ、旧喜如嘉小学校グラウンドにおいてもアート作品を見ることができます。イベント情報などの詳細につきましては、やんばるアートフェスティバルHP (yambaru-artfes.jp) よりご確認ください。

村内への定住拡大に向けて! 結の浜へ2棟目の 民間アパート建設開始!



12月15日(土)、結の浜へ2棟目となる民間アパート建設の起工式が行われました。村では第5次総合計画において、2025年時点の目標人口を3,200人と設定しています。目標達成のための施策として、人口減少を食い止め、定住促進及び雇用の創出を図ることを目的に、結の浜地域の一部に定住促進のため、民間賃貸住宅用の分譲地購入希望者を募集していました。

今回、結の浜に新しく建つのは、3階建て30室(1LDK)のアパートです。2019年夏頃の完成を目指し、工事が進んでいます。

相続で農地を取得した時は、 「農業委員会への届出」が必要です。

平成21年の農地法改正により、相続等によって農地法の許可を受けずに農地を取得した場合に届出が必要となりました。なお、この届出によって権利取得の効力を発生させるものではありませんのでご注意ください。

届出の受理後に農業委員会は適正利用が図られるようにならなさいなどを行い、耕作放棄地の発生を防止します。例えば、相続した方が地元を離れていて、自分では手入れができない場合に農地の管理についてのご相談や地元で借り手を探すなどのお手伝いをします。届け出がなかったり、虚偽の届出をした者は、10万円以下の過料に処せられます。

提出書類は、

- ①農地の相続等の届出書（農業委員会窓口にあります）
- ②相続登記済みの登記簿謄本の写しなど、相続したことの確認ができる書面

※詳しくは…**農業委員会事務局まで ☎0980-44-3477**

相続未登記農地について

全国的に相続未登記農地の増加が問題となっています。農地の所有者が死亡すると、新たな所有者となった相続人が相続登記を行うことになっています。

しかし、義務ではないことから、名義が死亡者のままになることがあります。世代交代が進み、法定相続人が何十人にもなっているケースもあります。そうすると、農地を売却する場合は法定相続人のすべての同意を得る必要があります。農地の有効利用が進まなくなり、遊休農地の発生の原因になる恐れがあります。

そのためにも農地所有者が死亡した場合は速やかに相続登記の手続きをしていただきますようお願いいたします。また相続登記した後は農業委員会へも相続の届出も忘れずをお願いします。

※詳しくは…**農業委員会事務局まで ☎0980-44-3477**

やんばるの自然を存分に楽しんでもらうための

『やんばる3村 ルールブック』完成



人・自然・文化・大切な地域の
資源をすつと残していくために
守ってほしいことがある

発行

やんばる3村世界自然遺産推進協議会 YAMBARU

・国頭村観光協会	TEL:0980-41-2420
・大宜味村生物多様性センター運営協議会	TEL:080-9851-0359
・東村観光推進協議会	TEL:0980-51-2433

平成31年1月1日(受診分) から

重度心身障害者(児)医療費助成 自動償還払いがスタートします！

県内の各医療機関で受診の際に、窓口にて健康保険証と受給資格証を提示し、医療費の自己負担分を全額し払うと、受診月の翌々月の末日に指定された口座へ自動的に助成金が振り込まれます。これまで行っていた役場窓口での払い戻しの手続きが不要となります。

◎自動償還払いの流れ

- ①県内医療機関を受診（歯科・調剤薬局を含む）
- ②受給資格者証と保険証を提示
- ③医療費を病院窓口で支払う
- ④受診月の翌々月に指定の口座へ助成金が振り込まれます

※新しい受給資格者証の色は「**そらいろ**」になります。
☆平成30年12月31日までの受診分については、これまでどおり、村役場窓口で申請手続きが必要です。
※領収書の支給申請は、受診月から一年が有効となります。

☆受診の際には、医療機関窓口にて「自動償還払い」を導入しているか必ず確認を行ってください。導入していない医療機関に関しては今まで通り領収書をもって役場での手続きを行ってください。

お問い合わせ先

大宜味村役場住民福祉課
☎ 0980-44-3003

高速道路を安全・快適に利用するために！

高速道路を利用される皆様が、安全で快適に利用できるようご理解とご協力をお願いします。

○出発前に積荷をチェック！

- ・沖縄自動車道では、建築資材（脚立や角材など）や家庭用品等の多種多様な落下物が多く、交通事故の原因となっています。
- ・積荷は、運転者の責任でシートをかけ、ロープでしっかり固定しましょう。

○出発前には車をチェック！

- ・沖縄自動車道では、タイヤ破損やエンジントラブルが原因の事故が多発しています。
- ・故障の大半が基本的な点検で防げます。燃料、タイヤ、オイルなどの点検を忘れずに！

○命を守るシートベルト！

- ・シートベルトは、衝突時にハンドルやフロントガラスに胸や頭をぶつける二次衝突や、車外に投げ出される危険性を一定の範囲で防止する効果があります。
- ・高速道路では、後部座席を含め全席シートベルト着用が義務となっています。

○あおり運転はやめましょう！

- ・前方の自動車に激しく接近し、もっと早く走るよう挑発する「あおり運転」は、重大な交通事故につながる悪質・危険な行為で、車間距離保持義務違反などの交通違反になります。
- ・危険な運転者に追われるなどした場合は、SA・PAなど交通事故に遭わない場所に避難してから、ためらうことなく警察に110番通報して下さい。

○逆走は命にかかわる危険行為！

- ・逆走してしまったときは、安全な場所に停車、ハザードランプを点灯して避難し、110番通報してください。
- ・逆走車を見かけたら、110番や#9910で通報してください。

沖縄県警察本部交通部交通機動隊・
西日本高速道路株式会社九州支社沖縄高速道路事務所

【お詫び】

広報「大宜味」12月号について

12月1日発行の広報「大宜味」12月号(No.285) 3ページに、訂正箇所がございますのでお詫び申し上げます。訂正箇所は以下の通りです。

【訂正箇所】

『子ども議会』開催!』の記事にて誤「代表10名が議員となり〜」正「代表11名が議員となり〜」

議長を務めた生徒を含むと、代表11名が議員として子ども議会に参加しております。今後、同様の間違いがないよう、努めて参ります。

平成30年

大宜味村むらづくり

応援寄附

	11月分	累計(1~11月)
件数	661件	4,602件
金額	13,439,006円	95,205,006円

県内外より本村にご寄付頂き心より感謝申し上げます。



村の人口

11月末現在

男 1,621人(-1)
女 1,472人(-4)
計 3,093人(-5)

世帯数1,639世帯(-4)

出生 0人 転入 15人
死亡 5人 転出 15人

*注()内数は対前月比

第28回大宜味村産業まつり開催のお知らせ

＜開催日＞平成31年1月19日(土) 9:00~17:00
20日(日) 10:00~17:00

＜開催場＞旧大宜味小学校グラウンド及び体育館

【お申し込み・お問い合わせ先】

大宜味村産業まつり実行委員会(産業振興課内)
☎ 0980-44-3232 FAX 0980-44-3999



フルーツシークワサー品評会の出店者募集中!!

【申込期間】平成30年12月17日(月) から平成31年1月16日(水) まで

【表彰式】平成31年1月20日(日) ※産業まつり会場にて展示・表彰式を行います。(受賞者には事前に連絡いたします)

【お申し込み・お問い合わせ先】

大宜味村シークワサー産地振興協議会(産業振興課内)
☎ 0980-44-3232 FAX 0980-44-3999

第4回大宜味村健康と福祉まつり

【開催日時】

平成31年1月19日(土)~20日(日)
10:00~17:00

【開催場所】

旧大宜味小学校体育館

【主なプログラム】

- 介護講座
- がんじゅうファッションショー
- 各表彰式(健康改善)
- 名桜大学ヘルスサポートによる健康測定・ジョイビート等

【お問い合わせ先】

大宜味村役場住民福祉課 ☎ 0980-44-3003



1月

1月1日~
2月10日

大宜味村カレンダー

1 火 元 日	22 火 ◆こころの健康相談会⑩	
2 水	23 水 ◆「体験の翼」事前学習会④	
3 木	24 木 ◆定例教育委員会会議	
4 金 ◆官公庁仕事始め ◆大宜味村成人式 ◆中学校出校日	25 金	
5 土	26 土	
6 日	27 日	
7 月 ◆3学期始業式 ◆区長会 ◆村民新春の集い	28 月	
8 火	29 火	
9 水	30 水 ◆「体験の翼」事前学習会⑤	
10 木 ◆新春マラソン駅伝大会(喜保)	31 木	
11 金	2月	
12 土 ◆わんぱく体験団⑦	1 金 ◆区長会	
13 日 ◆大宜味村駅伝競走大会	2 土	
14 月 成人の日	3 日 ◆大宜味村教育の日 ◆きらめき発表会(大小) ◆くがに一発表会(大中)	
15 火	4 月 ◆大小・大中振替休日	
16 水 ◆「体験の翼」事前学習会③	5 火 ◆旧正月(春節)	
17 木 ◆新春マラソン駅伝大会(塩保)	6 水 ◆「体験の翼」事前学習会⑥	
18 金	7 木 ◆乳幼児健診	
19 土 ◆第28回大宜味村産業まつり1日目 ◆県立移動図書館 ◆第4回大宜味村健康と福祉まつり1日目	8 金 ◆「体験の翼」西会津町訪問~11日	
20 日 ◆第28回大宜味村産業まつり2日目 ◆家庭の日 ◆第4回大宜味村健康と福祉まつり2日目	9 土	
21 月	10 日	

広報「大宜味」を
今年もよろしく
お願いします

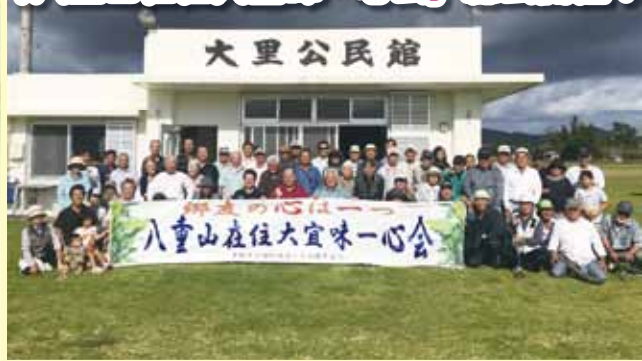




村内あれこれ



「八重山在住大宜味一心会」総会開催！



11月25日(日)、石垣市の大里公民館において、「八重山在住大宜味一心会」の総会が開催されました。大宜味村からも宮城功光村長、安里重和議員が出席し、集まった60名以上もの八重山在住大宜味一心会の方々で交流を楽しみ、26日(月)には西表島の大量集落へも足を運びました。両地域では、移住されて二世、三世となった現代においても、開拓者の苦勞された話や、昨年度の50周年記念を機に若い世代が加入してくれた話など、母村(大宜味)への想いを熱く語り合いました。

「日本国憲法第九条の碑」 建立1周年記念の集い



12月12日(水)、「日本国憲法第九条の碑」が建立されてから1年になるのに伴い、「大宜味村『日本国憲法第九条の碑』建立1周年記念の集い」(主催：大宜味村・大宜味村憲法九条の会)が開催されました。会場となった旧大宜味小学校体育館には、50名程の参加者が集まり、不戦への誓いを改めて確認しました。会場の方からの推薦を受けてあいさつをした宮里恵美子さん(津波)は、「戦争というのは絶対にしてはいけない。どんなことがあっても戦争の加担者になってはいけない。このことを子や孫に伝えていって欲しい」と、戦争を実際に体験した痛みと、平和を愛する想いを話してくれました。

田嘉里区において 特定外来生物「ツルビヨドリ」の 除去作業実施！



11月23日(金)、田嘉里区において、特定外来生物「ツルビヨドリ」の除去作業(主催：沖縄県・環境省)が実施されました。沖縄県環境部各課職員をはじめ、環境省やんばる自然保護官事務所職員や田嘉里区民、大宜味村役場職員、辺土名高校生、JALグループ職員などが参加しました。参加者は、外来生物についての説明を受けた後、3つのグループに分かれツルビヨドリの除去作業を行いました。3時間ほどの作業で約250袋分にもなり、世界自然遺産登録を目指すやんばる地域への更なる分布拡大を防ぐ、大切な活動となりました。

安心安全な手造りみそを贈呈！



12月13日(木)、JAおきなわ大宜味支店女性部(部長：金城久子)が、大宜味村社会福祉協議会事務所を訪れ、同協議会の島田哲夫会長に女性部を代表して仲間間幸子さんから、手造りみそ100個が贈呈されました。女性部の作る手造りみそは、大豆や麹菌などの材料を使い3ヶ月かけて丁寧に作られ、香りの良さと無添加だからこそ安心安全な味が特徴です。贈呈された手造りみそは、同協議会を通じて、一人暮らしの高齢者や支援を必要とする方のもとへ届けられます。

喜如嘉保育所・塩屋保育所において生活発表会開催！！



12月8日(土)、喜如嘉保育所において「第38回ぶながや生活発表会」が、12月15日(土)には、塩屋保育所において「第42回やましし生活発表会」が開催されました。両発表会ともに、元気一杯自分の役を演じる子、恥ずかしがって声が小さくなってしまふ子など、子どもたちの様々な一面を見ることができました。発表会に駆けつけた保護者や地域の方々も、子どもたちと一緒に最後まで楽しんでいました。

